

## 6 - 1 西南日本内陸部の地震活動（1998年5月～10月）

### Seismic Activity in the Inner Zone of Southwest Japan (May-October, 1998)

京都大学防災研究所  
地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

第1図は1998年5月から10月までの西南日本内陸部の地震活動状況を示す。この期間は、飛騨山脈でいくつかの群発活動が連続して起こったものの他の地域では前の期間に引き続いて地震活動はそれほど活発ではない。以下に地域毎の顕著な地震活動を示す。飛騨地方の群発活動で8,000個を越す微小地震を記録したため、第1図および第2図の震央分布図には、再検測されていない自動検測のデータが含まれている。

#### 1. 中部地方北西部の地震活動

第2図は飛騨地方北部および能登半島・富山湾周辺を含む北陸地方北部の地震活動状況を示す。

8月7日に(4)上高地付近で群発地震が発生し、8月12日には北の穂高岳付近に移動、そこから南北に群発域が拡大し、9月にはいるとこの間の活動の最北端にあたる野口五郎岳まで移動した。この活動の詳細については、本会報の「1998年飛騨群発地震」を参照されたい。

その他の地域では、(1)能登半島沖地震の余震域で約5ヶ月ぶりの6月15日にM3.9の地震が発生している。(2)7月1日に長野県西北部の白馬村でM4.9の比較的大きな地震が発生している。また、(3)8月1日には福井・岐阜県境の大日ヶ岳周辺でM3.4、M3.5の地震が発生している。(5)長野県西部地震の余震域で8月31日にM3.6の地震が発生しているが、この期間M3.3以上の地震はこの地震だけである。それ以外では(6)9月8日には新潟県の妙高山西北部でM3.4、(6)9月19日に新潟県上越市沖日本海でM3.9の地震が発生している。飛騨山脈の地震活動以外は比較的静穏であった。

第3図は北陸地方南部の地震活動状況を示す。

この地域は日本海および岐阜・三重県境で少し活動があったぐらいでこの期間も前の期間に引き続いて非常に静穏である。

岐阜・三重県境付近の活動は5月9日に三重県側でM3.4、5月10日にはその東の岐阜県側でM3.7の地震が発生し6月の末までに両地域で計6回のM3.3以上の地震が発生している。日本海では(2)5月16日に石川県加賀市沖でM3.7、(6)8月29日に福井県越前岬沖で、M4.2、(8)9月8日には、福井県三国町沖でM3.4の地震が発生している。

その他では、前述の(5)大日ヶ岳付近の地震、(4)5月25日滋賀県木之元町で発生したM3.6の地震、(7)9月8日に福井県武生市で発生したM3.4の地震が、目立つくらいである。(5)の地震

については次項で述べる。

## 2．近畿地方中北部の地震活動

第4図はこの地域の地震活動状況を示す。兵庫県南部地震の余震はこの期間M3.3以上の地震は発生しておらず、余震活動は順調に減衰している。また、有馬高槻構造線の北側の丹波山地でも(6)京都府東北部で8月16日および21日に発生したM4.2およびM3.4の地震以外には発生していない。

前述の(1),(3)以外に目立った活動は、(2)6月2日に大阪湾で発生したM3.4の地震、(4)6月20日に奈良県東吉野村で発生したM3.6の地震、6月24日に三重県名張市で発生したM4.1の地震などである。名張市の地震活動はその後9月上旬まで活動が活発で合計8回のM3.3以上の地震を発生している。

(7)については、次項で述べる。

## 4．中国地方東部の地震活動

第5図はこの期間中の中国地方東部の地震活動を示す。

1997年8月23日から活動を開始した鳥取県西部の地震活動はこの期間に入って活動が低下し、M3以上の地震は発生していない。これ以外の活動も低調だが、過去に活動した場所で、M3以上の地震が散発している。

山崎断層では(1)7月22日に山崎断層中央部で1月3日以来のM3.0以上の地震(M3.0)が起きている。(4)10月19日には山崎断層東南部で3月22日以来と、これも6ヶ月ぶりにM3以上の地震(3.4)が発生している。広島県北東部では、(2)7月26日にM3.6、(5)10月20日にはM3.0の地震が発生している。

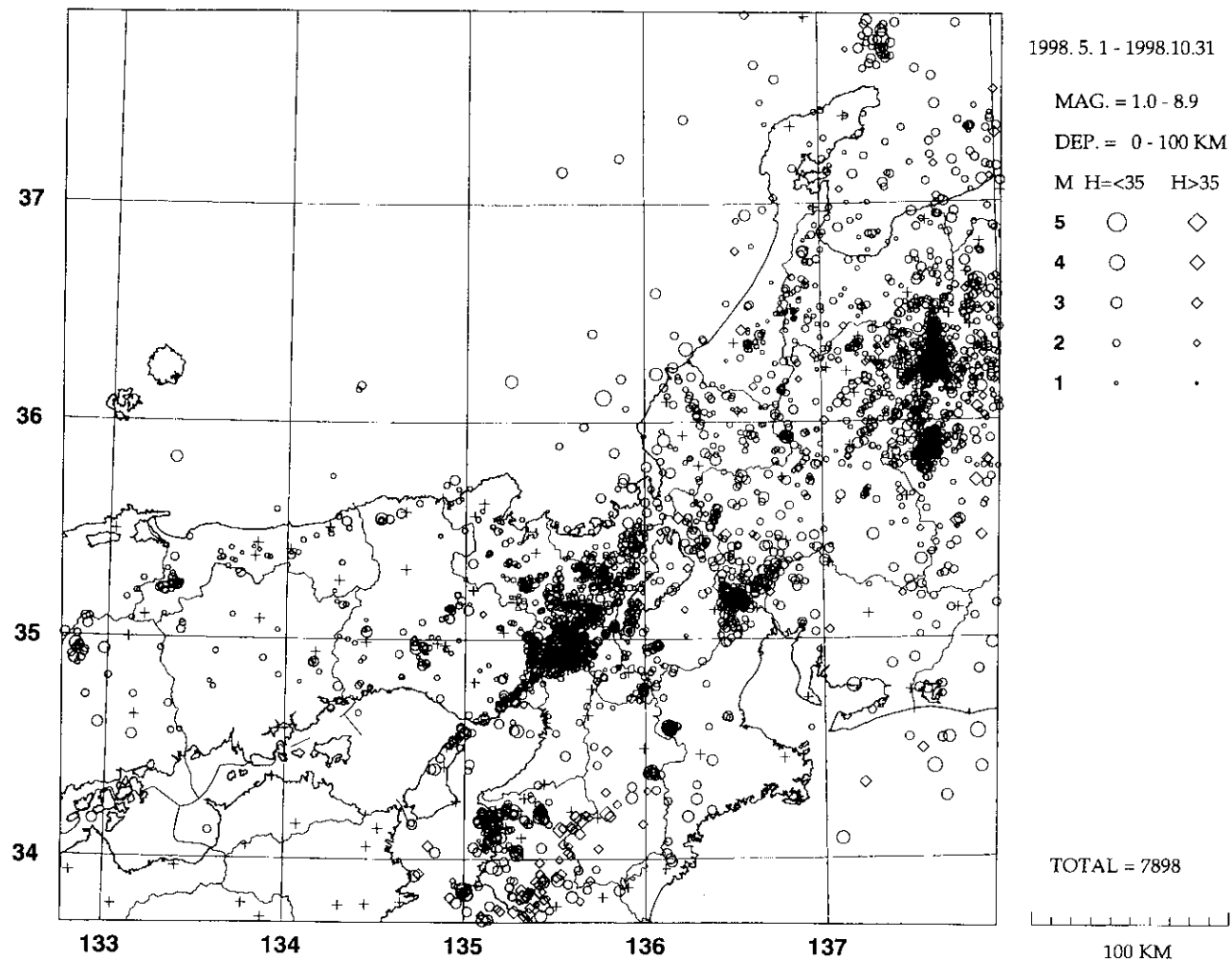
9月21日には(3)兵庫県温泉町でM3.2の地震が発生している。

## 参 考 文 献

- 1) 京都大学防災研究所地震予知研究センター：1998年飛騨群発地震，61(1999)。

# 西南日本内帯の地震活動

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

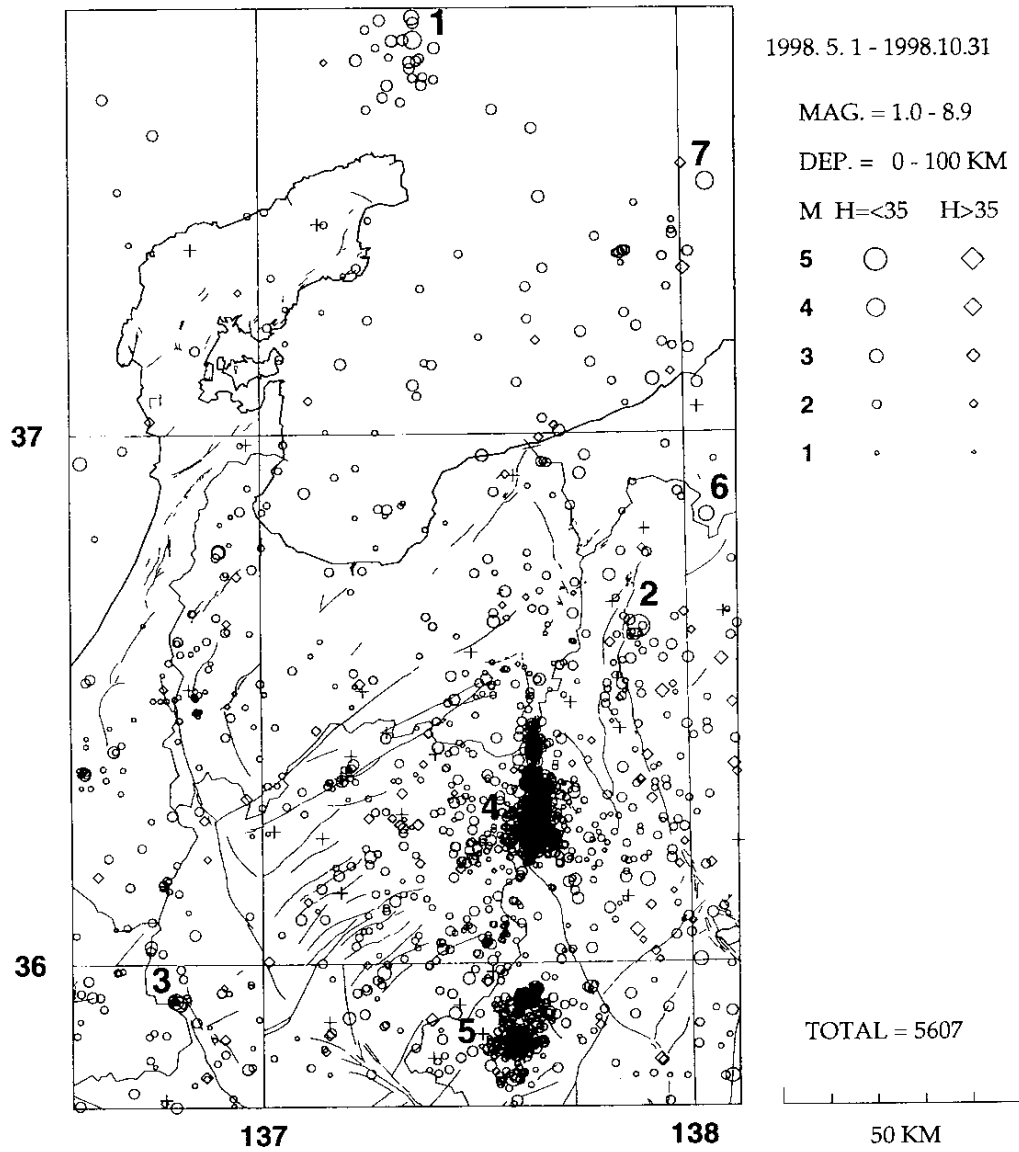


第1図 西南日本内陸部の地震活動（1998年5月～10月）

Fig. 1 Seismicity in the inner zone of Southwest Japan, May-October, 1998.

# 中部地方北西部の地震活動 ( 1 )

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

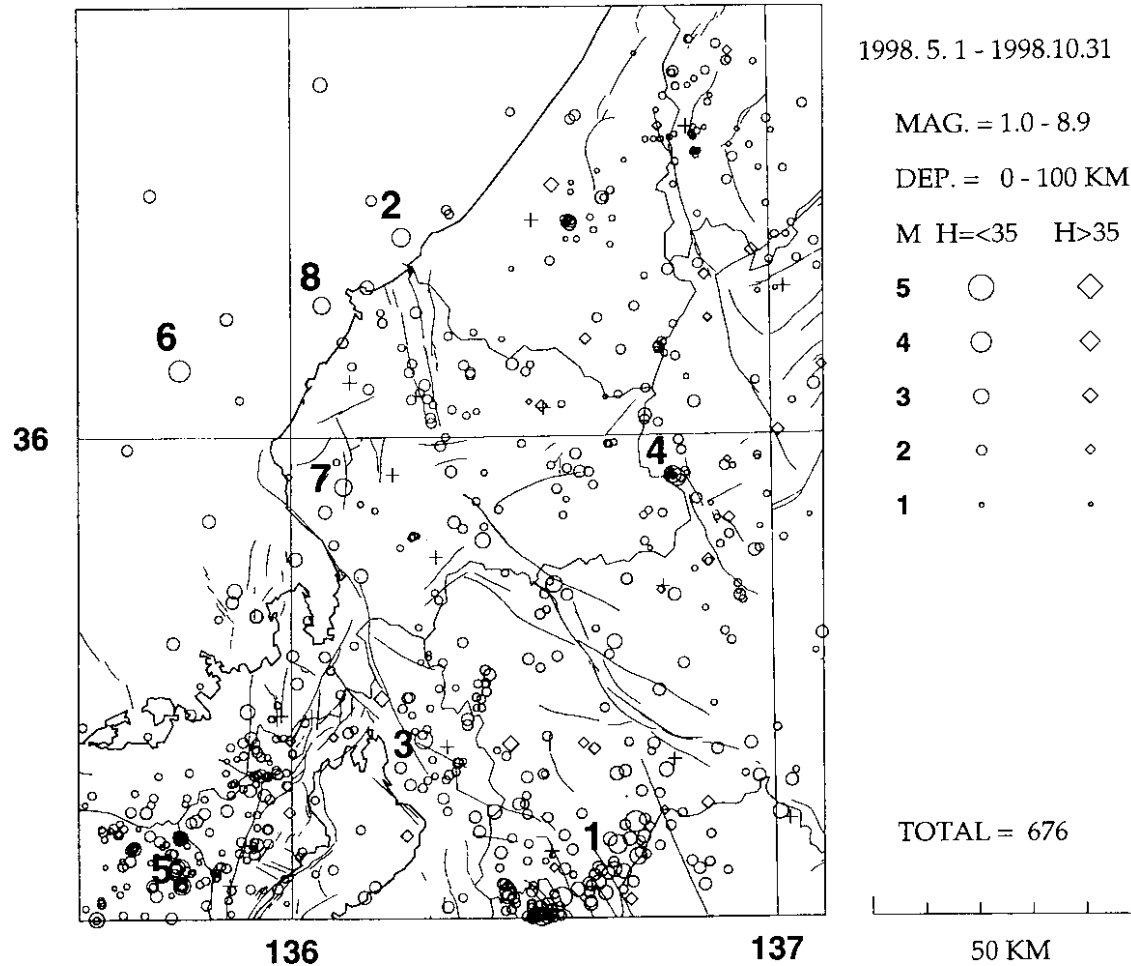


第 2 図 中部地方北西部の地震活動 , ( 1 ) 飛騨地方北部および北陸地方北部 ( 1998 年 5 月 ~ 10 月 )

Fig. 2 Seismicity in the northwestern Chubu region , (1) northern Hida and northern Hokuriku region , during the period May-October , 1998.

# 中部地方北西部の地震活動 ( 2 )

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

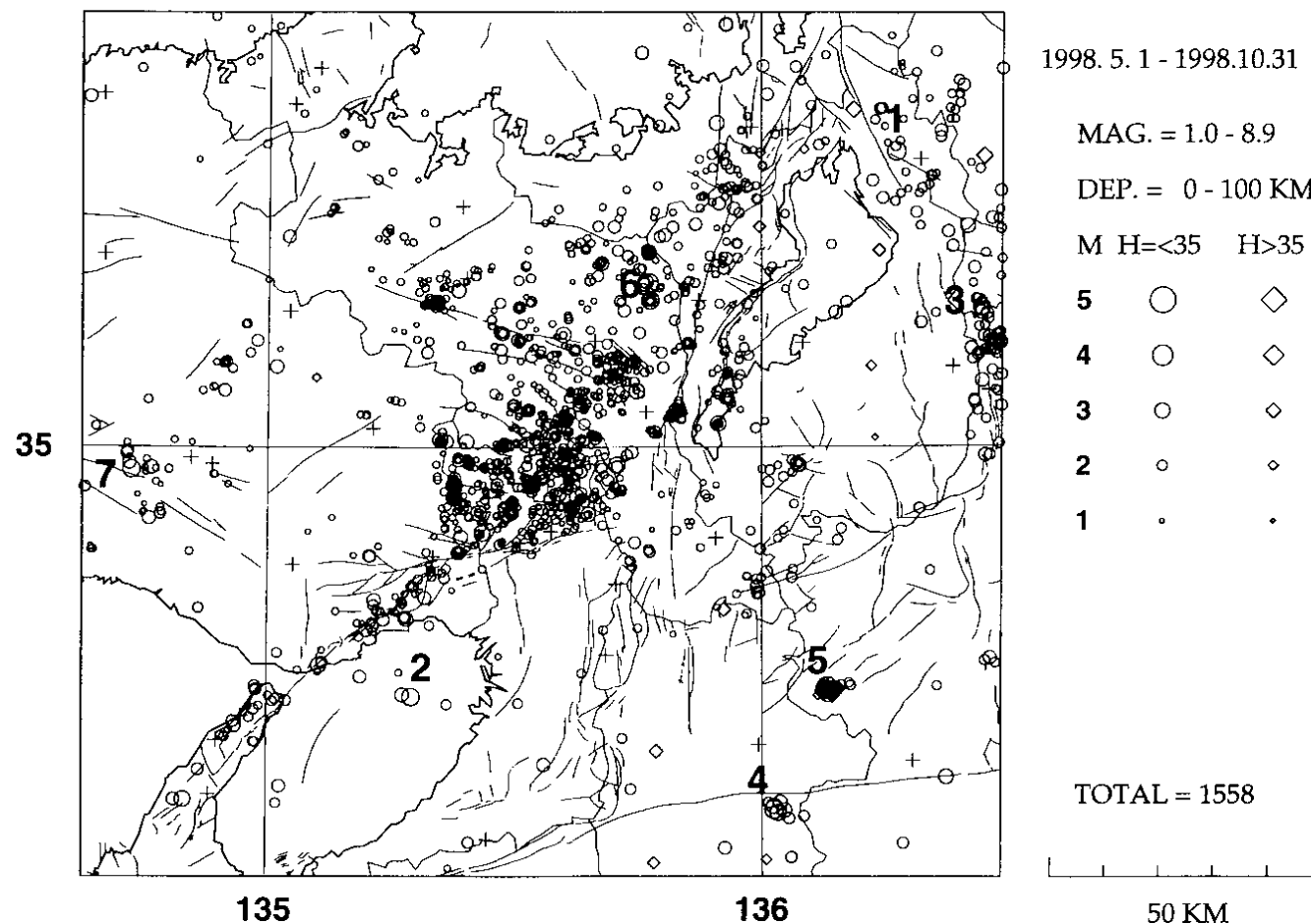


第3図 中部地方北西部の地震活動, (2)北陸地方南部 (1998年5月~10月)

Fig. 3 Seismicity in the northwestern Chubu region, (2) southern Hokuriku region, during the period May-October, 1998.

# 近畿地方中北部の地震活動

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

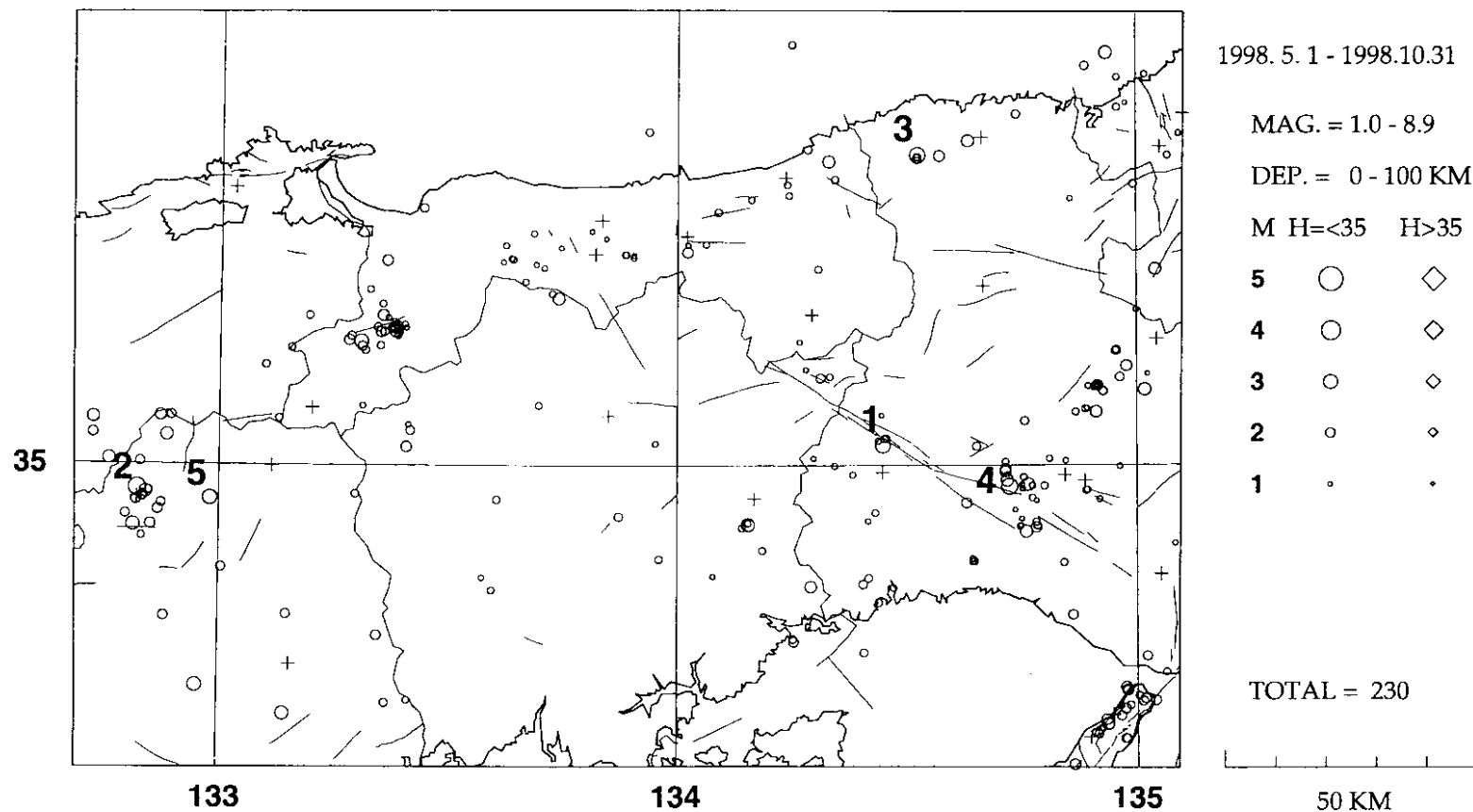


第4図 近畿地方中北部の地震活動（1998年5月～10月）

Fig. 4 Seismicity in the central and northern Kinki region, during the period May-October, 1998.

# 中国地方東部の地震活動

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.



第5図 中国地方東部の地震活動 (1998年5月~10月)

Fig. 5 Seismicity in the eastern Chugoku region, during the period May-April, 1998.